

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和5年6月1日

事業所名 ドーユーラボてだこ

保護者等数(児童数)30 回収数 26 割合 87%

|                  | チェック項目  | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | ご意見   | ご意見を踏まえた<br>対応  |
|------------------|---|----|---------------|-----|---|---|
| 環境・<br>体制整備      | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか  | 24 |               | 2   | ・聴覚過敏の為、子供の元気な声で体調崩す。<br>・本人の希望に臨機応変に対応してくれている                                      | 個室やヘッドホンを用意するなど活動を分けるなどをしているが、どうしても低学年児童の声や活動が制約できない分、負担をかけてしまっている。遮音カーテンなどの設備などで対応しています。   |
|                  | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか   | 25 |               | 1   |   | 法令上の配置には問題ないが、個々の特性にあった支援を行うことで職員の支援が多岐に広がってしまうため、安心して支援が可能なように工夫や人員の増員についても経営側と協議して考えていきたい |
|                  | 3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか                             | 11 |               | 14  | 1<br>・その点に注目していなかったためわかりません。<br>・意識して見たことがないのでわからない<br>・設置しているのか把握していません            | 必要な児童が利用する場合には同性トイレ介助、簡易スロープ等の対応をしていきたい   |
| 適切な<br>支援の<br>提供 | 4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか                      | 26 |               |     | とても寄り添った計画  | これからも、保護者と児童自身のニーズに応えられるようにしていきたい。  |
|                  | 5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか  | 25 |               | 1   |   |   |
|                  | 6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか                                  | 11 |               | 15  | 3<br>・分からないので<br>・我が子が利用する時にそれらの機会があるタイミングでは無いため、わからない。<br>・学校以外の交流や活動に参加する機会が減っている | コロナ禍が落ち着いているので、地域の児童との交流も広がる機会を持つため、児童クラブとの情報交換は行なっている。                                     |
| 保護者<br>への<br>説明等 | 7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか   | 26 |               |     |   |   |
|                  | 8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか                         | 26 |               |     |   |   |
|                  | 9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか   | 24 |               | 2   | ・非常に助かっている  | これからも保護者とは情報を共有して、抱えている悩みなど同じ視点を持っていきたい。  |
|                  | 10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか                              | 11 |               | 14  | 1<br>・コロナ化なので、保護者会はリモートで行った方がいい。<br>・わかりません<br>・コロナ禍で実施できなかったもので何も言えない              | 保護者同士の情報共有や勉強会を、コロナが落ち着いてきているので適時、開催していきたい。   |
|                  | 11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 22 |               | 4   | ・苦情を言うといったことがないので不明<br>・苦情があるのか分かりません…<br>・苦情があると聞いた事がないため分からない                     | 苦情があった際には現状を把握し、真摯に受け止め、解決に向けて改善していきたいと思えます。  |

|         |    |   |    |   |  |  |  |
|---------|----|---|----|---|--|--|--|
|         | 12 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか                                   | 26 |   |  |  | 活動が活発になってきているので、これからも日々の情報をLINEなどを通して、できるだけ写真や動画を活用するなど、わかりやすく伝えていけるようにしたい。                    |
|         | 13 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 26 |   |  |  |  |
|         | 14 | 個人情報に十分注意しているか  | 26 |   |  |  |  |
| 非常時等の対応 | 15 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか                   | 22 | 4 |  | ・あると思うが、詳しく聞いた事がない。  | 周知が足りていないので、わかりやすく、必要な文書などと説明していきたい。   |
|         | 16 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか                               | 18 | 8 |  |  | 会報やブログを通して伝えていますが、さらに周知ができるように工夫していきたい。  |
| 満足度     | 17 | 子どもは通所を楽しみにしているか  | 24 | 2 |  | ・最近、妹と遊ぶことが楽しく、行きたくないと言う日もありますが、行くと普通にしているようです。<br>・行き渋りがいつもあるが行く楽しんでいる。<br>・ラボに行けることが本人にとっての楽しみになっていて、利用日は朝から頑張ってくれているので嬉しいです。^_^ | 職員も児童たちとの関わりを楽しみにしており、引き続き、楽しく学び、交流できるようにしてまいります。<br>特性がある児童に対しても、ラボへ行く前からポジティブになってもらうよう工夫したい。 |
|         | 18 | 事業所の支援に満足しているか  | 26 |   |  | ・個々に合わせて対応もしてくれるので、とても助かっています。<br>・利用日を増やせたら良いのですが…  | ありがとうございます。コロナも収束に向かってるので、個々の支援の重要性がさらに必要となっております。今後も一人一人に目を向けて支援してまいります。                      |

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。